

「津波とふくしまのこどもたち」 ～ Don't Forget 3.11 ～

いわき在住のフォトジャーナリストの記録
高橋智裕 講演会 & 写真展

講演会 尾張一宮駅前ビル2階大会議室

2013.1.26 (Sat.)

10:00～12:00

写真展 尾張一宮駅前ビル3階
オープンギャラリー及びシビックテラス

2013.1.15 (Tue.)～26 (Sat.)

9:00～21:00

2012年3月11日、東日本大震災から1年の日、津波の被害があった地区で追悼式が行われた。たくさんの人が集まり、地震が発生した午後2時46分、一斉に黙祷が行われました。しかし、その陰であまり知られていない事実がありました。大切な人を失った遺族の姿が少数しかなかったということ。多くの人が集まっている傍らで喪服のまま、涙を流しながら自宅のあった場所で真新しいゴミを袋いっぱい拾っていた遺族の姿。

あれから1年8ヶ月。誰もが『“命”を身近に感じた日々』が遠い昔のことのように日本は動いています。しかし、被災地といえば、建物の基礎だけが残り、雑草が覆い尽くしています。原発事故の影響も深い根を下し、何も収束していない現実。町は昨日を失ったまま、ただ時間だけが経過し続けています。

震災は、まだ何も収束していません。

それは、原発事故だけではないのです。津波の被害を受けた街はまったく復旧しておらず、人々は、仮設住宅などに住み続け、先がまったくみえない生活を送っています。

そんな人たちを忘れないでください。

月日で区切ったりしないでください。

被災地は、これからが本当に大変な時期になります。

高橋智裕

会場：尾張一宮駅前ビル (i-ビル) / 入場無料



■高橋智裕プロフィール

写真家 & ジャーナリスト

1973年4月生まれ、福島県いわき市出身。
聖光学院高校、いわき短期大学卒。

3月11日、取材中、津波にのまれるも生還を果たし、翌日からいわき市を中心に取材や撮影活動を行う傍ら、テレビ・ラジオ・講演会などに出演、被災地で過ごす人間の目線で被災地を伝えている。

また、ライフワークである東日本大震災の撮影・取材の他に、イベントや、風景、子供を中心としたポートレートの撮影も手掛け、温かみのある写真も定評がある。

■高橋智裕講演会

○日時：2013年1月26日(土) 10時～12時

○場所：尾張一宮駅前ビル (i-ビル) 2階「大会議室」

■高橋智裕写真展

○日時：2013年1月15日(火)～21日(月) 9時～21時

○場所：尾張一宮駅前ビル3階「オープンギャラリー」

○日時：2013年1月22日(火)～26日(土) 9時～21時

○場所：尾張一宮駅前ビル3階「多目的ルーム」

主催

災害支援市民ネットワーク『ずっと...』

「ずっと」では、人としての成長を大切にしています。つながりとか、絆とか、助け合いとか、今回の大震災で誰もが立ち止まって自分を見つめ直したはずですが、何かできないか、と考えながら行動に移した結果がたくさん集まり、「ずっと」の合言葉で大きく広がっています。災害支援の活動が続いています。「ずっと」にご賛同の方は、もうちょっと先の大きな自分が見えていると思います。

企画協力

アースデイ尾張木曾川実行委員会

後援

一宮市 (予定)

NPO法人志民連いちのみや / シティーリペアネットワーク愛知

お問合せ：アースデイ尾張木曾川実行委員会 TEL: 0586 (28) 7270 e-mail: info@earthday-ok.org